

布施だより

《 つぶやく学習集団 ～支え合い高め合う仲間たち～ 》

数学科と英語科の学習追究の様子をお伝えします。

数学科、3学年ある日の単元は「二次方程式 因数分解による二次方程式の解法」でした。まず学習問題の提示があります。

「次の①～④で、2と4がともに解である二次方程式はどれですか

① $x^2 - 6x + 8 = 0$ ② $(x - 2)(x - 4) = 0$

③ $(x - 2)(x + 4) = 0$ ④ $(x + 2)(x + 4) = 0$

授業者の先生から発問が丁寧に生徒に下りていきます。<解を求めることではありません。→>くどうすれば2と4が解であるかを確認められる?>すると、すかさず「代入すればいいんだ。」とつぶやきが聞こえてきます。ここが西中生徒の学習に向かう可能性の芽があります。疑問や発見を気兼ねなくつぶやくことは、追究を集団で深めていく上で何よりも価値のあることなのです。すると授業者は、すかさずくそうだね、代入して確かめてください。>と生徒に返してあげます。この何気ないやりとりが普通に成立している、これが学習の質を高めているんです。

続いて学習課題がここで設定されます。

「 $x = 2$ と4を代入するなら、①と②のどちらの二次方程式がやりやすいかを考えよう。」

そして指示が<何故やりやすかったのか、理由を書いてください。>と入ります。数学科の学習では、この「理由」を数学的に自分の言葉で表現することが分析力を高めていくことにつながっています。生徒諸君はこのルーティーン(パターン)を身につけているので、悩みながらも言葉で根拠を表現していきます。そして、つまずくと必ず仲間に聞きます。これがまたいい!躊躇なく聞きやすい学習仲間聞き、共に追究し合う素地が育っているんです。

そして先生方の、一步一步 Step を踏んでいく発問が、理解を深め、学習集団に浸透していく授業が展開されています。1時間の終わりには、生徒の思考の流れと先生の指導したいポイントが黒板の板書に見事に残されていきます。

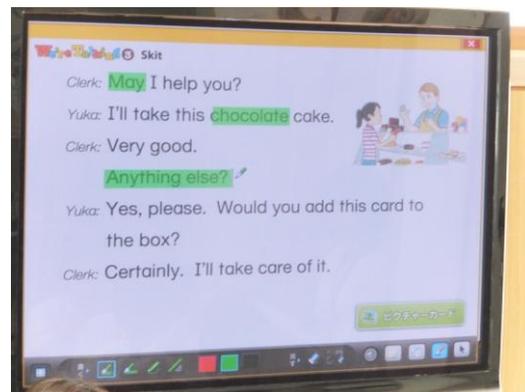
やはり3学年の英語科の授業です。学習問題は「由香と店員さんの台詞を互いに演じる場面で、単語の読み方をペアで確認したり、台詞のイントネーション(アクセント)を考えたりすることを通して、場面に応じた読み方ができるようになる。」です。



やはり授業のルーティーンとしてのパターンが英語科の先生方にも共通していて、教科会としての指導方針に定着がなされていました。それは「Target sentence」であったり、「1 minute practice」であったり、「虫食い学習プリント」であったり。そしてパターン追究をペアワークに据え、支え合う学習の着実な一歩としての真価が感じられます。生徒達は安心してパターン追究から導入されていきます。

何よりも「つぶやき」が教室のあちこちから生き生きと聞こえてくる追究姿勢がなされています。学年が上がるに従って、「分からね～」というつぶやきが聞こえてくると、自然に「どこが？」と聞き返す協働追究の芽があふれてきます。そしてこれも学年が上がるにつれて、男女生徒のつぶやきを通しての関わりが増え、自然に学び合いがなされる良さが垣間見えます。参観していてうれしくなります。何が分からないかを分かっているのは、教師ではなくて生徒自身であるということを改めて教えられました。

そして先生方は困難に向かおうとする生徒に寄り添おうと、温かい眼差しを持って接してくれています。ひとりひとりの、そして追究集団全体としても学力を保障してやるような、そんな局面に、丁寧に手を入れていることも西中の学習の良さです。



今年度の「学校グランドデザイン」にある学校運営の3本柱のひとつ「支え合い高め合う集団づくり」を「基礎・基本の学力の確かな定着」とあわせて、生徒諸君と一緒に追究してきた1学期、77日間は過ぎようとしています。

《 県大会・コンクール ～そして北信越大会へ～ 》

週末にかけて、中体連の県大会が開催されました。まっすぐな挑戦を通して、より広い世界を体験してきた生徒諸君。その経験から得られた成果を普段の学校生活へ返していくことが、これからの皆さんの務めになりますね。またいつも壮行会で力強い演奏を響かせてくれている吹奏楽部諸君のコンクールが県民文化会館大ホールであり、疾走感あふれる演奏を披露してくれました。

みんな、本当に今までご苦労様でした。より高い地点に立てる人はより謙虚で優しい品格を身につけていくことになります。みんなの成長が夏休み前の私たちへの最高のプレゼントになりました。



◎結果速報です・・・

<男子テニス部> 小林元気くん・山口唯斗くんペア 準優勝
団体3位

<ソフトボール部> 準決勝 対高山中 ○12—6 決勝 対松代中 ○2—1 優勝

以上 祝 北信越大会出場

期日：8月6・7日（水・木） 於：新潟市南魚沼市（男テニ）燕市（ソフト）

<新体操> 西村玲奈さん 個人総合33位（7/12 於：伊那）

<サッカー部> 対三郷中 ●2—4

<水泳部> 春原滉大くん 50m自由 38位 200m個人メドレー32位
小林大真くん 100m平 19位 200m平 20位

<柔道部> 齊川裕也くん 1回戦敗退

女子団体 対丸ノ内中 ●1—2

<バドミントン部> 女子団体 対伊那中 ●1—2 対白馬中○2—1 対松川中●1—2

<吹奏楽部> 銀賞



<7月18日の壮行会より>

《 夏休みに向けて～ 事故に遭わぬよう、巻き込まれぬよう！ ～ 》

7月29日（火）～8月20日（水）の期間、夏休みになります。

夏休みの過ごし方については前号でお伝えした通りです。学校から離れ、ひとりになって学習や自分の時間に向き合うこととなります。自立した生活を期待しつつ、まだまだ幼い面を持ち合わせているのも中学校時代です。生活リズムを崩さぬよう、事故や事件に遭わぬよう・巻き込まれぬよう家庭でのご指導宜しくお願いいたします。気がかりなことがあった時には担任、学年職員に連絡ください。

8月21日、658名の生徒諸君との再開を心待ちにしています。